

吉田財団設立40周年記念事業
令和7年度 特別助成金 活動報告書

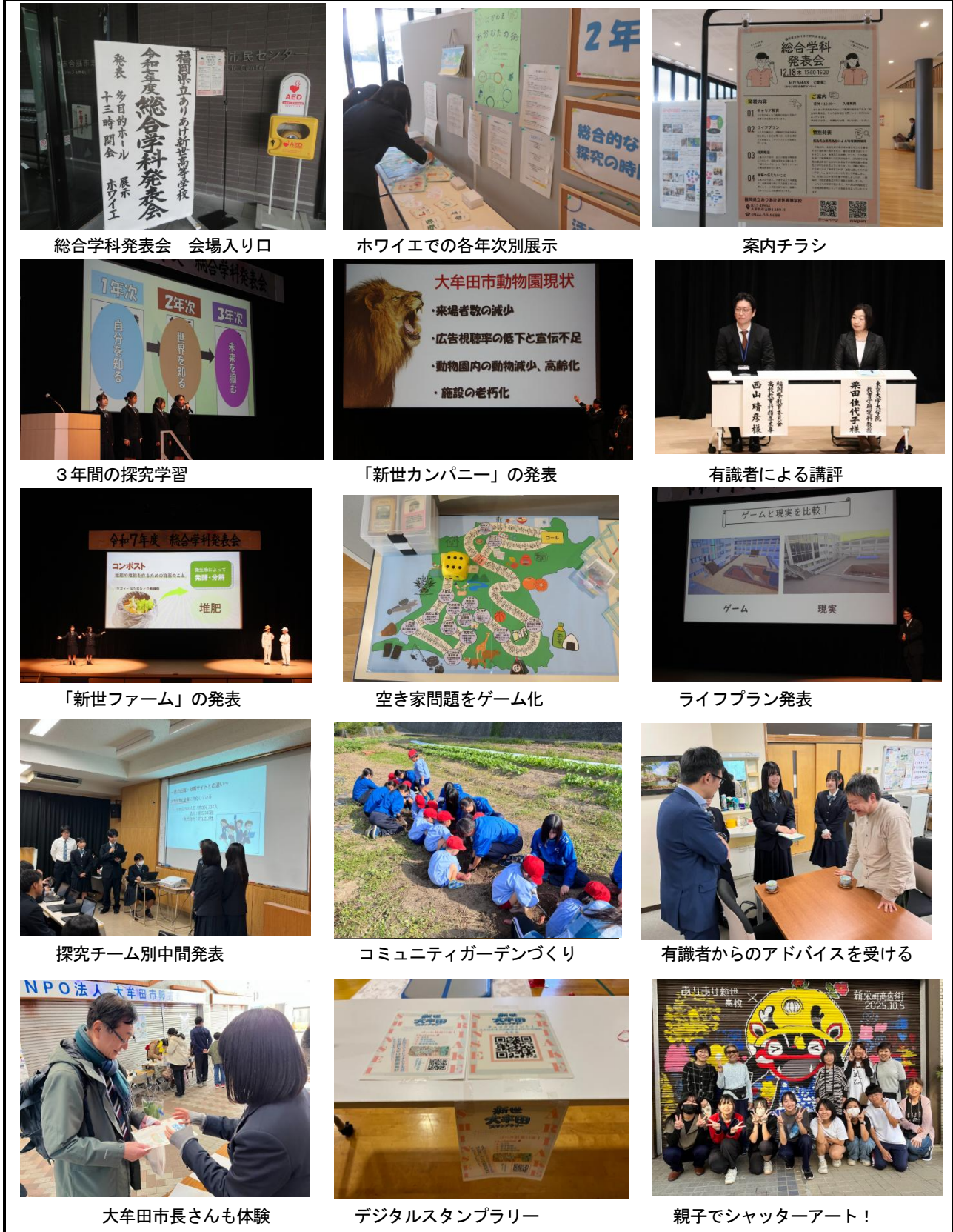
公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

助成事業の名称	SHINSEI(新世・真正)の学びプロジェクト			
学校名	福岡県立ありあけ新世高等学校			
学校長名	井上 雅水			
報告者	前川 修一			
事業の目的	1.生徒の主体性の喚起 2.地域活性活動と環境保全活動を通じた社会貢献 3.社会活動を通じた能動的教員集団の構築			
実施日(期間)	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
行事・活動の内容	1.総合学科発表会の開催(令和7年12月18日 みやま市総合市民センター) 2.有識者(街づくり・堆肥作りの専門家)による年間を通じた助言・指導と発表会講評 3.地域課題解決および資源循環型社会実現のための生徒の取組			
対象者・人数	生徒 406名 教職員(常勤)34名			
目標達成の状況	1.総合学科発表会を、みやま市総合市民センターにて開催した。 2.有識者による講演、定期的な指導と助言、発表会の審査・講評をいただいた。 3.地元大牟田市の中心市街地活性化のため、生徒が意欲的な探究活動を行った。			
教育的効果・成果 に対する初見	1.1年間の探究活動の集大成として、ホールを使った効果的な発表の場ができた。 2.生徒の主体性を促し、また教職員も高度で実地的な知見を得ることができた。 3.生徒が行政や民間企業等と協働し、具体的で実効的な地域貢献ができた。			
3年先の姿(希望) に向けた活動計画	1.外部コンテストへの応募やオンラインでの発表の機会を通じ、プレゼン力を向上する。 2.地域のさまざまな活動に積極的に参加し、アントレプレナーシップを育む。 3.スマートシティやスマート農業の実現に向けたデジタル教育を進める。			
経費区分	合計金額	会計報告		備考
		助成金	自己負担	
会場費等	125,180	125,180	0	市民センター借用料
外部委託費	150,000	150,000	0	講演料・指導料・交通費・諸経費 込みの委託料 50,000円×3名
消耗品費	14,135	14,135	0	生徒探究活動経費
教材費	40,685	40,685	0	コミュニケーションツール 「えんたくん」用紙 300枚
合計	330,000	330,000	0	

※ 助成金の使途については、領収書(写し可)を任意の台紙に添付して、ご報告願います。

活動状況の写真等(当日の様子など)



総合学科発表会 会場入り口

ハワイエでの各年次別展示

案内チラシ

3年間の探究学習

「新世カンパニー」の発表

有識者による講評

「新世ファーム」の発表

空き家問題をゲーム化

ライフプラン発表

探究チーム別中間発表

コミュニティガーデンづくり

有識者からのアドバイスを受ける

大牟田市長さんも体験

デジタルスタンプラリー

親子でシャッターアート！

今後の活動見通し・課題

県の補助金が昨年度で終了し、発表会の会場費が捻出できず、頭の痛い問題を抱えている。国のDX補助金等を活用し、地域社会課題の解決および資源循環型社会の実現のためにも、デジタル教育を強力に推進するとともに、各種補助金に積極的に応募し、これまでの教育活動を持続可能にしたい。